

三菱ふそう 品質問題への取組み状況報告

弊社の最新の車両事故・火災情報（スクランブル対応）および、緊急性の高い11案件の市場措置（リコール対応）の実施状況をご報告申し上げます。

記

今週の定例報告事項

1. 車両事故・火災情報（スクランブル対応）

- ・[資料1]をご参照下さい。
- ・5月24日に発生しました新潟県新潟市県道16号線での大型バスの非常扉開きに関して、5月30日に調査を行いました。調査の結果、非常口扉のロック機構、警報ブザーの作動に異常は認められませんでした。事故前後の状況から、事故前日に扉が開閉されておりその時に半ドア状態となり、かつ警報ブザーが接触不良等により鳴らずそのまま運行した結果、左折時の遠心力により扉が開いたものと推定されます。
尚、リコールとの関連はありません。
- ・5月25日に発生しました静岡県静岡市の東名高速下り線での大型トラックの車両故障に関して、6月3日に警察の見分に立ち会いました。路上故障の原因は、後前軸左側のアクスルシャフトの約10cm抜け出しであり、8本中1本のみ回収された取り付けボルトには損傷、伸び等の問題なし。車検作業時のボルト締付けが不十分であったため徐々に弛みが発生し、ボルト脱落、シャフト抜け出しに至ったものと推定されます。
尚、リコールとの関連性ははありません。
- ・5月28日に発生しました長野県諏訪市の中央道上り線での小型バスの車両火災に関して、6月2日に調査を行いました。調査の結果、客室内用ヒーターの配管が腐食、ホースの劣化により水漏れが生じ、エンジン冷却水が減少。オーバーヒート気味になりエンジン本体の温度が上昇し、ブローバイホースの補修用に使用していたガムテープが触れて発火、ホースおよびホース内のオイル等に延焼した可能性が考えられます。
尚、リコールとの関連性を調査しましたが、関連性はありませんでした。

2. 緊急性の高い11案件の市場措置実施状況

- ・[資料2]をご参照下さい。
- ・クラッチハウジング恒久措置につきましては、前回比(5月30日時点)約500台増の約86%となっています。

以上

車両事故・火災情報(スクランブル対応)

: 網掛け部が前回公表時に対して追加・変更した箇所を示す。

2005.06.08

発生日時	場所	車両	スクランブル	事故内容及び調査概要	人身	47項目のリコール等 不具合内容との関連性	過去の該当リコール案件
6/15日20時	中央道 長野県座光寺PA	FU517TX 00年4月登録	済	中央自動車下り走行中、松川IC先下り坂でブレーキを使用したところ、 ブレーキ警報ランプ点灯とブザーが吹鳴。後々軸左側の内側の部分から出火 ・後々軸左側のみハブリング廻りに錆有り、水浸入の痕跡有り。 ・他の車輪は全てきれいであり、水浸入の痕跡なし。 ・後々軸ハブハブリング 焼き付のリコールに該当する可能性有り。	なし	47案件 (No.10) に該当	電気系統のリコール対象 (00年8月対策済み) 緊急点検: 実施前
6/23日22時	福岡県久留米市 宮の陣 九州自動車道	FU410TZ改 95年9月登録	済	走行中右後輪から出火、30分後に消火。 ・後々軸右側のアウターハブリング 焼き付き破損。目視では目立った錆は無し。 ・ブレーキラインが下側焼け大(後軸芯ずれのため)。他のリヤ3輪とも、ロックナットに緩み有り。 ・不具合発生部位以外の3輪のグリスは、使用に適さない性状である。(除く後々軸左アウターハブリング部) ・不具合部位のグリスは、熱や消火作業時の放水の影響を受けていると思われ判定困難。 ・ハブリングは後々軸左側を除いて継続使用には適さない状態。不具合部位後々軸右側のアウターハブリングは破損のため調査不可能。 ・焼き付き破損位置以外のハブリング、グリス、ロックナットの状態から不具合部位も同様にダメージを受けていて破損した可能性が高い。その他警察捜査中。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	該当無し
7/5日18時	群馬県藤岡市 関越自動車道 (藤岡JCT付近)	BE459F 95年8月登録	済	車体から白煙が見えたので停車。エンジンルームから炎が出ていたので、消火器で消火を試みるも全焼。 ・スターターは連続通電による内部過熱の形跡なし。キースイッチリコールとの関連性は少ない。 ・エンジンルーム内は全焼しているが、左側の焼損が激しい。ただし左側には樹脂類の可燃物が多く ・延焼したものの、火元かの判別は困難である。燃料パイプ、噴射ホーン 噴射管に亀裂なく燃料漏れの可能性はない。 ・オルタネーターは県警科捜研が調査。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	スターターキースイッチリコール対象 (2003年6月 措置済)
7/28日4時	福岡県北九州市 都市高速4号線 紫川IC付近	FV514H 98年2月登録	済	トランスミッションとデフ間のプロペラシャフトがデフ側で破損し脱落。 ・インクデフのコルパニオンフランジ 締付けネジの根元破断し、プロペラシャフト脱落したと推定。 ・ネジの根元部の破損は谷部全周を起点とした疲労破壊。 ・デフ側破損部のコルパニオンフランジのスライソに生じたカタによりシャフトねじり切上り部に捻じり過負荷がかかり折損に至ったと推定。	2名通院(8/下) 1人は首、肩の痛み。1人は腰痛、打撲で2名とも外傷無し。	47案件 (No.24) に該当	キャブ電源ハーネスリコール対象 (2000年8月 措置済) 緊急点検: 未実施
7/29日5時	福島県会津坂下町 磐越自動車道上り	FV411T 94年3月登録	済	トランスミッションとデフ間のプロペラシャフト3本が脱落。 ・フライホイールリングが亀裂。クラッチハウジングを結合する取り付けボルト6本が脱落、6本緩みあり。 ・クラッチハウジングとの接合面に揉まれ跡があり、ボルトの弛みによる破損と推定。 ・ボルト締め付け力の不足の原因としては、クラッチディスク交換時等のボルト締め付け不十分の可能性が高い。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2004年5月 措置済) クラッチハウジングリコール対象
7/31日14時	大分県中津市	FS419TZ 94年3月登録	済	走行中にエンジンが急に噴き上がり、路肩に停車させ、キャブチャルト、噴射ホーンのアクセルリワイを引くもエンジン停止せず。その間マフラー過熱し、マフラー廻りから出火しリヤタイヤ、バッテリー、タンクなどを焼損。 ・噴射ホーンの分解調査実施。コントロールラックがガバナ側1気筒目の溝部底を起点として疲労破壊している。 ・コントロールラックの折損により噴射ホーンが制御不能となりエンジンが吹き上がったものと推定。	なし	47案件 (No.32) に該当	フロントハブリコール対象 (2004年6月 暫定点検済み) タンデムプロペラシャフトリコール対象 リヤプロペラシャフトリコール対象 (プロペラシャフトはいずれも未実施) 緊急点検: 未実施
8/1日19時	富山県入善町 国道8号線	FU510UZ 99年9月登録	済	走行中、異音が出たため路肩に停車したところ左前輪から出火していた。その後運転席部分などを焼いて鎮火。 ・左前輪アウターハブリングが破損し、ブレーキひきずり発火したものと推定。 ・右前輪アウターハブリングは継続使用には不適な状態であり、左側も同様のダメージを受けていて破損した可能性が高い。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	キャブ電源ハーネスリコール対象 (2000年8月 措置済)
8/11日14時	長崎県佐世保市 西九州道 大塔IC出口市道	FP445D 94年9月登録	済	車両全焼。トレー一部焼損。詳細は不明。 ・キャブ後部の焼損が激しく火元の特定は困難。 ・県警捜査継続中。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2004年4月 措置済) クラッチハウジングリコール対象
9/11日14時	神奈川県川崎市 国道409号線	FN622K 98年12月登録	済	4台(当該車両を含む)の玉突き事故。運転手がブレーキが効かなかったと証言。 ・ブレーキ系配管からのエア漏れ、ブレーキ液漏れなし。ブレーキ低圧警報ブザー機能は正常。 ・制動力をマスターで計測したが検査基準には合格。 ・その他警察捜査中。	あり 4台中2台(2名) 1名鞭打ちで 通院中 他1名は通院1回	当社調査結果から関連性は認められません。	キャブフック曲がり不具合リコール対象 キャブチャルト警告灯不具合改善対策対象
9/14日3時	鳥根県益田市 国道191号線	FU510UZ 97年7月登録	済	走行中異音が出て、しばらくすると灯火系が消えたため停車した。下車して確認したところ左側ヘッドライトとフロントバンパーの間の奥に炎が見えた。キャブ全焼。 ・最初に炎が確認された部位の近くで回収した配線にショート痕あり。配線を調査した結果、後付け配線である可能性が高いが、出火がショートによるものかの判定は困難。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	シャシハーネスリコール対象 (2000年9月 措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象

発生日時	場所	車両	スクランブル	事故内容及び調査概要	人身	47項目のリコール等 不具合内容との関連性	過去の該当リコール案件
9/23日6時	兵庫県西宮市 市道	FP415D 94年1月登録	済	走行中エンジン付近から煙が出たので車両を止めて避難した。その後車両は全焼。 駐車場でエンジンを始動させた時に異音に気付いたがそのまま出発し約100m走行した所で発煙。 ・車両右前方のキャブ下側のハーネス付近の焼損が激しく出火場所と考えられるが、ハーネスにショート痕なし。 ・警察が捜査継続中。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 クランチハウジングリコール対象 (2004年8月 措置済)
10/6日6時	大阪市北区 国道2号線	MP717K 98年10月登録	済	走行中車両前方に乗用車が進入してきたため急ブレーキをかけたところ、そのはずみで車両右側後方の非常口横のシートが前に倒れた。倒れたシートに着席していた乗客とその後ろの席の乗客が負傷した。 大阪府警が車両保管中であり破損部位の詳細状況は確認できず。 ・警察捜査中。	あり 1名打撲 通院加療5日 他1名はそのまま帰宅	47案件 (No.47) に該当リコール1229(9月22日届出)	燃料タンクリコール対象 (2000年9月 措置済) 非常口扉シールドリコール対象 緊急点検:8月25日実施
10/14日14時	広島市西区 草津漁港浮き橋	FK417J 89年1月登録	済	岸壁と浮き桟橋とを結ぶ渡し橋の上に止めてあった車両が後退し、車両後方で橋の修理作業中の2名を巻き込んで浮き桟橋の上で止まった。 ・駐車ブレーキ機能に問題なし。その他警察捜査中。	あり 1名死亡 1名全身打撲	当社調査結果から関連性は認められません。	キャブチルト警告灯不具合改善対策対象
10/5日19時	岐阜県中津川市 中央道下り	FP512D 99年5月登録	済	約5%の下り勾配のS字カーブの後半の左カーブで、中央分離帯をまたいだ状態でキャブ左側を下にして横転、炎上。 トラック全焼。トレーラーは前方が焼損。 ・運転手に事故前後の記憶がなく横転時の状況不明。警察捜査中。	あり ドライバ-重傷 後続車2台が追突、各運転手が重軽傷	当社調査結果から関連性は認められません。	シャシハーネスリコール対象 (2000年7月 措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象
10/19日12時	静岡県浜松市 東名高速上り 三ヶ日IC～浜松西IC	FY50JTY 01年3月登録	済	走行中フロントとリアデフ間のプロペラシャフトが脱落し、後続の軽自動車落下した部品を乗り越え左前後タイヤがパンクした。 ・タンデム間プロペラシャフトが脱落。ただし、フロント側にはフランジヨークが残存(レッカ-業者が牽引作業時取り外した)し、リアデフ側はロックナット、割りピンが外れた状態でプロペラシャフト本体のみが脱落している。ロックナット、割りピンは回収されていない。リダクションピニオンのねじ部には損傷なくロックナットは緩んで脱落したものと推定。	なし	47案件 (No.2) に該当リコール1257(10月7日届出)	6M70タービンシャフトリコール対象 (2001年3月 措置済) 6M70VGターボリコール対象 タンデムプロペラシャフトリコール対象 (2003年3月 措置済) リアプロペラシャフトリコール対象 (2004年3月 措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象 フロントハブアリンクリコール対象 エンジンハーネスリコール対象 エンジンリアマウントリコール対象 タンデムプロペラシャフト再リコール対象 緊急点検:未実施
10/15日5時	奈良県奈良市中畑町 国道25号線	FE648F 94年6月登録	済	走行中ハッチ音と異臭があり車両左側からの発煙を確認。車両を止めたところキャブ左側後方から出火。キャブ全焼。 ・キャブハックと荷箱の間の焼損が激しく、エンジンルーム内はアルミ製部品に溶損はなくそれほど強く燃えていない。 燃料漏れ、オイル漏れの痕跡なし。配線にはショート痕なし。スターター異常なし。 キャブハックの焼損が激しく火元の特定は困難であった。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	ステアリングキャブボックスリコール対象 駐車ブレーキケーブルリコール対象 タイロッドエンドボールジョイントリコール対象
11/2日12時	川崎市川崎区 首都高速横羽線下り 浜川崎出口付近	FN61FK 00年1月登録	済	走行中右前輪がパンクしたために路肩に停車したところ右側前輪付近から出火していた。 キャブ全焼。キャブ後方の外周が焼損。リアモディ前方も一部焼損。 ・前軸左右輪のブレーキに引きずった痕跡あり。リアアリンクに破損はなく、軸ずれによる引きずりではない。 ブレーキが掛かった状態で走行した可能性があるため、ブレーキ系の関連部品を調査したが焼損が激しく作動の確認は出来なかった。残存部品の組み付け状況は問題なし。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	VGターボC/W改善対策対象 (2000年8月 措置済) スターターリールリコール対象 (2000年8月 措置済) リアホイールシリンダーリコール対象 (2002年9月 措置済) リアホイールパークチャムパーブレットリコール対象 (2004年8月 措置済)
11/17日11時	川崎市川崎区 首都高速湾岸線下り 川崎浮島JCT付近	FP511D 97年2月登録	済	走行中にキャブが外れ、運転席の下から大きな音がしてアクセルが利かなくなり路肩に停車。プロペラシャフト前側のジョイント部が破損し一部の部品が脱落した。プロペラシャフト本体は脱落せず。 トランスミッションの前側フランジ部が全周亀裂しシフト本体は後部が垂れ下がった状態。 トランスミッションの前側フランジ部全周と、クランチハウジング一部亀裂。脱落部品は前側のスライダ-とその関連部品の為、駆動系の関連部品の詳細調査、スライダ-部のアリンクリテーナーホルトが弛み抜け出し破損したと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	シャシハーネスリコール対象 (2000年9月 措置済) クランチハウジングリコール対象 (2004年6月 暫定措置済) キャブ電源ハーネスリコール対象

発生日時	場所	車両	スクランブル	事故内容及び調査概要	人身	47項目のリコール等 不具合内容との関連性	過去の該当リコール案件
1/5日13時	三重県四日市市午起 国道23号線下り	FU415JD 96年3月登録	済	走行中、後前軸左側のホイール8本すべて折損しタイヤが脱落、外側タイヤが同じ車線の右折レーンに停車していた乗用車の左後部に当たった。内側タイヤは脱落したがホイールをブレーキドラムが押さえつけて転がらず。 ・折損したホイール8本のうち2本の破断面には疲労破損の形跡あり錆びも発生している。ホイール側の全てのナット締め付け面に錆びが発生しており弛みによりホイール折損に至ったと推定。	現時点(1/11)で人身事故との警察判断の情報は無し	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 クランチハウジングリコール対象 (2004年7月 暫定措置済) 後々軸ハブベアリングリコール対象
1/1日4時	埼玉県岩槻市南平野 国道16号ハハス	FK71HG 99年9月登録	済	走行中片側2車線の左側レーンに停車していた車両の右後部に、当該車両がキャブ左前部から追突した。アドリフ状態にして下車し、相手車両の運転手と数分間話をして戻ったところ、助手席側のインストルメントパネル付近から発煙、出火し全焼した。 ・ショート痕の場所等の状況から、出火の原因は衝突により配線の被覆が破れたことによるショートと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	スターターリコール対象 (2004年8月 措置済)
1/2日18時	福井市西開発	FK61FJ 01年11月登録	済	交差点で一旦停止側の側道から出て来た乗用車と衝突し、対向車線を右へそれて、田んぼへ転落した。事故の際キャブが捻じた。 ・乗用車が当該車両のキャブ右側前方下部のキャブステップ付近にほぼ直角に突っ込んでおり、キャブが大きくずれている。このためにフックが外れ捻じたもので、衝突事故による二次的なものと判断する。	当該車両の運転手が肋骨にヒビが入り通院中	当社調査結果から関連性は認められません。	スターターリコール対象 (2000年9月 措置済)
1/7日23時	神奈川県伊勢原市 国道246号線 新善波トンネル手前	FV50LH 00年6月登録	済	走行中プロペラシャフトが脱落し、後続車が乗り上げパンパが損傷。 ・プロペラシャフトの後側ユニバーサルジョイントの残存しているベアリングに焼き付きの痕跡がある。 ・破損状況からベアリングの潤滑不良により焼き付きが発生しジョイント部が捻じ切れ、前方のスプライン部からプロペラシャフトが抜け出し脱落したものと推定。 ・破損部のベアリングにグリスを注入するニッポル(口金)が詰まっていて正常に機能しておらず整備作業時給脂出来なかったものと思われる。 ・警察継続調査中。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	カムシャフトリコール (2001年6月措置済) キャブ電源ハーネス再リコール対象 箱型マフラーリコール対象 フロントハブベアリングリコール対象 リアプロペラシャフトリコール対象 リアハブリコール対象 フロントハブリコール対象
1/18日14時	静岡県袋井市 東名高速下り 袋井IC～磐田IC	FS415U改 94年3月登録	済	走行中フロントとリアデフ間のプロペラシャフトが脱落、後続車への加害なし。 ・タンデムプロペラシャフトが脱落、ただし、フランジヨークはフロントデフ側に残存。 ・リアデフ側のリダクションコンキッションのナットが弛みコンキッション内部に脱落、切断された割りピンの破片も確認。リコールの破損状況と同じ。	なし	47案件(No.2)に該当リコール1257(10月7日届出)	フロントハブリコール対象 クランチハウジングリコール対象 箱型マフラーリコール対象 タンデムプロペラシャフトリコール対象 アクスルチューブリコール対象 リアハブリコール対象
1/20日15時	山口県美祿市伊佐町 中国道上り 美祿西IC～美祿IC	FU510UZ 97年2月登録	済	走行中エンジン制御警告ランプが点灯、キャブ外側左からの発煙を確認したので停車した。下車してキャブ左側を見たところ炎を確認した。キャブ全焼、リアボデー前側焼損。 ・インジクランクケース左側より第4気筒のコネクティングロッドが飛び出している。噴出したエンジンオイルが高温の排気系に付着、発火し周囲の可燃物に延焼したと推定。 ・エンジン分解調査結果、第4気筒以外のコネクティングロッドベアリングに異常はなくオイルメンテナンス不良による不具合の可能性は低い。04/09のコネクティングロッドベアリング交換時の作業に起因する可能性が高い。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	シャシーネリコール対象 (2000年8月 措置済) キャブ電源ハーネス再リコール対象 (2005年1月 措置済) 後々軸リフトスプリング外れリコール対象 リアハブリコール対象
1/31日17時	大阪府池田市 駐車場	FK61FK 01年3月登録	済	荷積み後帰社しエンジン停止。車面を離れ数分戻るとキャブ内より出火していた。キャブ全焼、リアボデー前側焼損。 ・最初に炎が確認されたのは助手席前、下側のパネルの内部。 ・助手席前のルーボックス付近のハーネスに、生産時には見られない捩り配線とショート痕が多数あり。また、シャシーキャブへの配線のうちの1本がECU本体下面にショートし溶着。焼損が激しく火元の特定は困難。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブベアリングリコール対象 (2003年8月措置済)
2/9日1時	静岡県御殿場市神山 東名高速上り 駒門PA手前	FV50NH 02年11月登録	済	登坂車線を走行中プロペラシャフトが脱落し停車。落下物による二次被害はなし。 県警より故障停車原因究明の実車見分立会い要請あり。 ・トランスミッション側プロペラシャフトジョイント部スライダ2カ所が焼付き損傷しプロペラシャフトスリーブヨークが脱落。 ・残存スライダ2カ所のベアリング部モグリス残量少および性状不良(ドロドロ)で焼付き寸前(焼付き始め)を確認。 ・グリス給脂は可能(問題なし)を確認。 ・その他県警捜査中。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブベアリングリコール対象 リアプロペラシャフトリコール対象 リアハブリコール対象 フロントハブリコール対象
2/8日14時	福島県福島市大笹生 国道13号線	FE516BT 95年3月登録	済	走行中焦げ臭いがしたので停車したところ、キャブと荷箱の間に炎を確認した。キャブ全焼、荷箱は前半分が焼損。 ・排気管付近に炭化した積荷の裁断紙と思われる残留物あり、またトランスミッション横の左側フレーム内シャシーネスにショート痕があるが焼損が激しく火元の特定は困難。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	スターターキースイッチリコール対象 (2002年9月 措置済) タイロッドエンドボールジョイントリコール対象
2/15日11時	群馬県新田郡笠懸町 県道69号線	FE63EEY 02年3月登録	済	交差点手前で前方を走行中の軽乗用車が減速したのでブレーキをかけたが効かず停車した車両に追突。追突された軽乗用車が前の普通乗用車に追突した。天候は雪、路面はシャーベット状態。 ・制動力を計測、検査基準に合格。ブレーキペダル踏力に違和感ない。また、ブレーキ分解したが特に異常はない。 ・ABSシステム異常の履歴をテスターで確認したが問題なし。 ・車両には特に異常なところは確認できなかった。	軽乗用車の運転手軽傷	当社調査結果から関連性は認められません。	ブレーキハイドラスタリコール対象 (2004年12月 措置済) フェーエルハイクラフ脱落リコール対象 (2004年12月 措置済)

発生日時	場所	車両	スクランブル	事故内容及び調査概要	人身	47項目のリコール等 不具合内容との関連性	過去の該当リコール案件
2/16日13時	高知県高岡郡中土佐町 国道56号線	FK619K 96年3月登録	済	坂道を降坂中、前方の道路工事現場所で停車中の車両を発見したのでブレーキをかけたが効かずに追突した。 当該車両を含めて4台の玉突き事故。直前までの降坂中はブレーキの効きに異常はなかった。 ・制動力を計測、検査基準に合格。ブレーキ分解したが焼け等の異常なし。ウォーキングシステムも異常なし。 ・その他県警捜査中。	現時点では 物損事故扱い	当社調査結果から関連性は認められません。	キャブフック曲がり不具合リコール対象 キャブチャル警告灯不具合改善対策対象
2/12日16時	長野県小諸市平原 国道18号線	FU410U 94年3月登録	済	前方走行中の小型トラックが右折のため減速したので、ブレーキペダルを踏んだが底付きしたような感じになり効かなかった。ハンドルを切って避けたが、右折車両に追突。当該車両はその後横転。 ・制動力を計測、検査基準に合格。ウォーキングシステムも異常なし。ステアリング系の作動も異常なし。 ・その他県警捜査中。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2004年4月 措置済) 後々軸ハブベアリングリコール対象 リヤハブリコール対象
3/3日6時	大阪府枚方市香里ヶ丘 府道18号線	FK61FL 03年1月登録	済	走行中ハンドルとメーターパネルの間から発煙、その後炎を確認したので避難した。キャブ内全焼。 ・メーターパネル裏側の電源線にショート痕あり。2本の線同士が溶着、別の1本がステアリングコラムステーに溶着している。ただし、ショートした配線のヒューズは切れておらず、バッテリーまでの配線の被覆も途中から残っている。原因の特定はできず。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブベアリングリコール対象
2/25日15時	愛知県豊田市竜神町	FK71GJ 02年10月登録	済	急な坂道(約18%勾配)を降坂中にブレーキペダルが底付きしたような感じになり減速できなかった。坂道の突き当たりがT字路になっており、曲がりきれずにガードレールを乗り越えて鉄軌道の線路内に転落した。 ・ブレーキ系のエア配管がつぶれて漏れが発生している。ただし、カードレール等への衝突により二次的に破損したものとされる。配管を修復し制動力を計測したところ、検査基準に合格。ウォーキングシステムも正常に作動する。 ・その他県警捜査中。	運転手軽傷	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブベアリングリコール対象
3/9日0時	静岡県静岡市 国道1号線ハイパス	FU54JUJ 04年2月登録	済	走行中、サイドミラーで後前軸が右側に出っ張ったように見え白煙も確認した。約2km走行し停車し確認したところ後前軸の左側タイヤの奥から出火していた。リヤホティ後部がほぼ全焼。 ・後前軸リサハシヨントロットのボールジョイント取付けナットが脱落したため、車軸の左右方向の拘束が弱くなり、左内側のタイヤホイールとショックアブソーバーが接触したと思われる。その時、破損したショックアブソーバーから噴出したオイルが金属接触による火花または熱により発火、延焼したものと推定。 ・ナット弛みの原因は締結強度不足によるもの。リコール届出済み。	なし	リコール1415(4月15日届出)	フロントハブリコール対象 (2004年11月 措置済) エアサスロッドリコール対象 (2004年11月 暫定措置済) エンジンリヤマウントリコール対象 (2004年11月 暫定措置済) リヤハブリコール対象
3/14日22時	兵庫県加東郡社町 県道17号線	FU55JUJ 04年11月登録	済	走行中後続車より指摘があり車両を停車し確認したところ、後前軸の左タイヤの奥に炎を確認した。 左内側タイヤ付近とリヤホティの床部分が焼損している。積荷への延焼なし。 ・後前軸リサハシヨントロットのボールジョイント取付けナットが脱落したため、車軸の左右方向の拘束が弱くなり、左内側のタイヤおよびブレーキドラム・バックプレートがショックアブソーバーが接触したと思われる。その時の摩擦熱によりタイヤより発火、延焼したものと推定。ショックアブソーバーは表面に変形はあるが内部の作動油は漏れ出してはいない。 ・ナット弛みの原因は締結強度不足によるもの。リコール届出済み。	なし	リコール1415(4月15日届出)	リヤハブリコール対象
3/23日18時	栃木県下都賀郡大平町	FA580B 99年6月登録	済	自宅敷地内でエンジンをアイドリング状態で荷おろし中エンジンが停止した。再始動できずキャブ下から出火。エンジンルーム全焼。 ・エンジン左前側上部の焼損が激しく出火場所の可能性が高いがその付近の配線にはショート痕はない。エンジン本体からのオイル漏れ、前周りの補記類クーラーのロック、スターターのオーバーラン等の異常も見られない。燃料ホースは焼失しており燃料漏れの有無の確認は不可能。出火原因の特定は困難。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	スターターキースイッチリコール対象 (2002年5月 措置済) フロント独懸ボールジョイントリコール対象
3/29日19時	広島県福山市神村町 山陽自動車道上り 神村トンネル手前	FN428T 94年1月登録	済	走行中振動があり衝撃音とともにショックを感じ、車線上にリヤフロアシャフトが落下したのを確認した。 後続の乗用車一台が落下物に乗り上げてタイヤ&ホイールが損傷。既走行距離1,711,163km。 ・リヤフロアシャフト(3本中の最後尾)のデフ側エンバーサルジョイントのスパイダー(未回収)が破損しフロアシャフトが脱落。前側のジョイントは損傷があるが破断しておらず、スリーブヨークはぶら下がり状態で脱落していない。 ・デフ側スリーブヨークまたはジョイントヨーク部のリテーナホルトが折損しスパイダーが脱落した可能性があるが、当該部の破面の損傷が激しく折損原因の特定は困難。ただし、脱落寸前の状態で回収したスリーブヨーク側のホルトには疲労破面が、スパイダーにはカガが認められる。未回収のデフ側スパイダーもほぼ同等のメンテナンス状態であったと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2004年3月 措置済) クラッチハウジングリコール対象 (2005年1月 措置済) リヤハブリコール対象 アクスルチューブリコール対象 (2005年1月 措置済)
3/24日13時	長野県東筑摩郡本城村 長野自動車道下り 立峠トンネル内	BE459F 97年1月登録	済	高速道に入ってリヤガラス一面が路面の水を巻き上げ様な状況になりリバーを動作させた以外特に変調なし。その後約20km走行後右前輪後方に火花が見えたので非常停車帯に止め車外へ避難した。 ・エンジン冷却水漏れ、燃料漏れ、エンジンオイル漏れと思われる形跡は確認できたが、エンジンルーム内の焼損が激しく原因の特定は困難。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	リヤブレーキパイプ干渉リコール対象 (1997年5月 措置済) スターターキースイッチリコール対象 (2002年4月 措置済) 駐車ブレーキフルリコール対象 フロント独懸ボールジョイントリコール対象
4/13日21時	新潟県妙高市毛祝坂 国道18号線	FP411D 96年3月登録	済	登坂走行中バチバチ音と焦げ臭さを感じ停車したところ、キャブ右後方に煙と炎を確認。通りがかりのトラックの運転手が消火器で消火した。その後消防車の放水で完全鎮火。エンジンルーム内右後部ぼや。 ・キャブ右後方に後付けでエンジンオイルフィルターが増設しており、そこからエンジン本体への配管(インフューブ)2本の一部が焼失、直下の排気管の焼損が比較的激しい。後付けのオイル配管インフューブの劣化または騒音防止カバーとの干渉により亀裂が発生し、エンジンオイルが漏れて高温の排気管に滴下、発煙、発火したものと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2004年8月 措置済) クラッチハウジングリコール対象 (2005年3月 措置済)
4/18日12時	静岡県 東名高速下り 三方原PA付近	FK619H 96年5月登録	済	走行中発煙に気付いたが約5km走行後、キャブ後方の窓越しにリヤホティからの出火を確認したので停車。キャブ、エンジンルーム内全焼。リヤホティ前部が焼損。 ・車両の損傷状況から火元はエンジン右後方排気管付近と推定されるが、排気ガス漏れ、オイル漏れ、オイル付着、配線のショート痕等出火の形跡は確認できず。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	キャブフック曲がり不具合リコール対象 (2004年12月 措置済) キャブチャル警告灯不具合改善対策対象 (2004年12月 措置済)

発生日時	場所	車両	スクランブル	事故内容及び調査概要	人身	47項目のリコール等 不具合内容との関連性	過去の該当リコール案件
4/19日19時	岐阜県中津川市山口 国道19号線	FP415D 96年4月登録	済	走行中センターコンソールのラジオの裏付近から発煙を確認したので道の駅の駐車場に停車した。助手席前のインストルメントパネルを外したところ奥に炎が見えた。キャブ全焼。トレーの前後半分は延焼。 ・キャブ内インストルメントパネル内側のハーネスからの出火の可能性が高いが、出火元付近には後付け配線も含めて多数のショート痕があり原因の特定は困難。	運転手軽傷 (手のひらに火傷)	当社調査結果から関連性は認められません。	燃料噴射ポンプラックリコール対象 クラッチハウジングリコール対象 (2005年3月 措置済)
5/6日18時	埼玉県上福岡市 車庫内	FE73EB 03年9月登録	済	火災発生約1時間30分前に車庫内に駐車し、その後約1時間後従業員が退社した。その後18時頃車庫が燃えているのを近所の人が発見、消防へ通報。車庫内に駐車していた他の6台にも延焼。 ・車両の状況からキャブ内からの出火と推定。キャブ内の右側の焼損が特に激しいが配線のショート痕等出火原因となるようなものは確認できず。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	マスターシリンダーピストンカップ折損リコール対象
5/10日12時	東京都大田区 首都高速湾岸線西行き 多摩川トンネル内	BG438F (97年5月初度登録) (04年5月登録抹消)	済	未登録の中古車として回送中、水温計の針が異常に上がっていたのでパーキングに停車し水を補給、走行を再開したところ車内に煙が侵入して来たので路肩に停車した。非常電話を使用し戻ると左前側のタイヤの奥から火が出た。 ・スターター内部の破損はなくオーバーランの可能性はないが、バッテリーからの+配線のターミナルが半分溶損、スターターマウント端子も溶損。締結が緩みエンジン始動時にスパークが発生し端子ゴムキャップ等に延焼した可能性が高い。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	スターターキースイッチリコール対象 (2002年5月 措置済) 駐車ブレーキケーブルリコール対象 タイロッドエンドボールジョイントリコール対象
4/30日22時	長野県諏訪市豊田 県道50号線	FE88DEV 05年3月登録	済	峠から降坂して来て降りきった所の交差点の手前で信号が赤になったのを確認したのでブレーキペダルを踏んだが柔らかく効かなかった。停止車両への追突を避けるために道路左側の車庫とプロップ壁に当たった。キャブ左前側破損。 ・ブレーキ系に損傷はなく、計測した制動力値は検査基準に合格。ウォーニングシステムも正常に作動する。 ・ブレーキ系の分解調査結果、事故当時の状況からブレーキを過熱させフェード現象、ペーパーロック現象が発生し制動力が低下した可能性が高い。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	なし
5/12日12時	静岡県引佐郡三ヶ日町 東名高速上り	FS510VY 96年9月登録	済	走行中運転席下側付近が熱く感じ、足元から発煙したので停車。助手席側から避難しようとしてドアを開けたところ運転席周辺から炎が上がった。キャブ、リアホティ全焼。 ・運転手の発煙、出火時の証言と車両の焼損状況から運転席付近からの出火と考えられるが、この付近に車両側の発火源(電気配線、可燃物等)はなし。また、バルコ等の人為的失火の痕跡も見つからず出火原因の特定できず。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	シャシハーネスリコール対象 (2000年8月 措置済) タンデムフロアシャフトリコール対象 (2003年5月 措置済) リヤフロアシャフトリコール対象 (2003年9月 措置済) キャブ電源ハーネス再リコール対象 (2005年3月 措置済) タンデムフロアシャフト再リコール対象 アクスルチューブリコール対象 フロントハブリコール対象
5/13日10時	北海道檜山郡厚沢部町 道道67号線	FV415P 86年4月登録	済	走行中白煙を確認したので停車したところキャブ後方から炎が上がった。エンジンルーム左後部ばや。 ・タンクコントロールケーブル(キャブ内～タンクシリンダー)とバッテリー～キャブ間のシャシハーネスが長期間干渉し被覆が摩滅し短絡し出火したものと推定。タンクケーブルの配線が正規とは異なっておりこれが干渉の原因と思われる。本ケーブルは消耗品でありいつの時点で事故車両の状態になったかは不明。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2005年1月 措置済) クラッチハウジングリコール対象 (2005年3月 措置済) リヤハブリコール対象
5/24日10時	新潟県新潟市女池明神 県道16号線	MS822P 97年5月登録	済 5/30日	国道ハイパスから県道へ合流するカーブを走行中車両後方右側の非常口扉が開いた。 ・調査時点では非常口扉のロック機構、警報ブザーの作動に異常は認められず。 ・事故前後の状況から推定すると、事故前日に扉が開閉されておりその時に半ドア状態となり、かつ警報ブザーが接触不良等により鳴らずそのまま運行した結果、左折時の遠心力により扉が開いたものと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	フロントハブリコール対象 (2004年8月 措置済) ホイールハブ・ウェッジリコール対象 (2005年1月 措置済) ホイールハブ・スプリングリコール対象 (2005年1月 措置済)
5/25日23時	静岡県静岡市 東名高速下り	FU510UZ 98年3月登録	済 6/3日	走行中突然車速が落ちてきたので路肩に停車した。後前軸左側のアクスルシャフトが約10cm抜け出していた。 ・アクスルシャフト取り付けボルト8本中1本を回収。ボルトのねじ山の一部にシャフト外れ時に出来たと思われる潰れがある以外、損傷、伸び等の問題なし。アクスル側のねじ山の損傷はないがボルト穴内に少量のグリスの残存を確認。 ・当該部の直近の作業は2月の車検時であり、その時のトルクチェックの有無は不明。車検作業時のボルト締付けが不十分であったため徐々に弛みが発生し、ボルト脱落、シャフト抜け出しに至ったものと推定。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	シャシハーネスリコール対象 (2000年8月 措置済) キャブ電源ハーネス再リコール対象 (2005年2月 措置済) 後々軸リフトスプリング外れリコール対象 (2005年2月 措置済) リヤハブリコール対象
5/28日13時	長野県諏訪市 中央道上り	BE459F 95年6月登録	済 6/2日	走行中バックミラーで白煙を確認したので車両を路肩に停車させたところエンジンルームから煙が出てきたので車内のエンジンルーム点検扉を開けた。エンジン左後方から炎が上がっていたので車載の消火器で消火した。エンジン左後方ばや。 ・客室内用ヒーターの配管腐食、ホースの劣化により水漏れが生じ、エンジン冷却水がほとんどなくなりエンジンが焼き付き寸前の状態。エンジンフリーザーホースを中心に燃えており、ホースには亀裂補修したと思われるガムテープの燃え残りあり。 ・エンジン左側のスターター配線関係に異常なし。スターターは正常に作動することを確認。焼損部付近の配線にショート痕なし。 ・エンジン冷却水が減少しオーバーヒート気味になりエンジン本体の温度が上昇し、フローパホースの補修用に使用していたガムテープが触れて発火、ホースおよびホース内のオイル等に延焼した可能性が考えられる。	なし	当社調査結果から関連性は認められません。	スターターキースイッチリコール対象 (2002年5月 措置済) 駐車ブレーキケーブルエンドリコール対象 タイロッドエンドボールジョイントリコール対象 駐車ブレーキケーブル固定不良リコール対象

・6月14日以降、昨年未までの車両事故・火災情報(スクランブル対応)は45件(うち27件は47項目との関連性無かった為項目から削除)

資料2

市場措置実施状況 (05年6月6日現在)

()内数値は、5月30日時点の数値を示す。

市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数 实在登録台数	実施状況				合計	
		暫定措置		恒久措置		実施台数	実施率(%)
		実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)		
大型トラック クラッチハウジング リコール (04年5月26日・1092)	68,679 (05年1月末現在)	7,246 (7,760)	10.6% (11.3%)	59,276 (58,737)	86.3% (85.5%)	66,522 (66,497)	96.9% (96.8%)
大型トラック 後前軸と後後軸間プロペラシャフト リコール (04年10月7日・1257)	14,166 (05年1月末現在)	2,117 (2,331)	14.9% (16.5%)	8,382 (7,891)	59.2% (55.7%)	10,499 (10,222)	74.1% (72.2%)
大型バス流体式リタ - ガ装着車プロペラシャフトエンドヨ - ク リコール (04年6月15日・1111)	262 (05年1月末現在)	0 (0)	0.0% (0.0%)	262 (262)	100.0% (100.0%)	262 (262)	100.0% (100.0%)
大型バス フロント独懸用アームシャフト亀裂 リコール (04年10月27日・1290)	6,859 (05年1月末現在)	57 (63)	0.8% (0.9%)	5,175 (5,098)	75.4% (74.3%)	5,232 (5,161)	76.3% (75.2%)
小型バス ローザ 非常ドアの開放 リコール (04年9月22日・1228)	3,565 (05年1月末現在)	—	—	3,564 (3,564)	100.0% (100.0%)	3,564 (3,564)	100.0% (100.0%)
小型トラック キャンター ブレーキライン リコール (04年7月21日・1168)	8,835 (05年1月末現在)	160 (176)	1.8% (2.0%)	8,374 (8,333)	94.8% (94.3%)	8,534 (8,509)	96.6% (96.3%)
大型トラック後2軸駆動車 前側駆動軸差動機(インタデフケース)リコール (04年10月13日・1265)	2,682 (05年1月末現在)	58 (60)	2.2% (2.2%)	2,308 (2,295)	86.1% (85.6%)	2,366 (2,355)	88.2% (87.8%)
中型バス 変向機(Tドライブ)ピニオンギヤシャフト リコール (04年10月13日・1261)	3,220 (05年1月末現在)	120 (121)	3.7% (3.8%)	1,262 (1,173)	39.2% (36.4%)	1,382 (1,294)	42.9% (40.2%)
小型バス ローザ荷物扉開放 リコール (04年9月22日・1228)	1,048 (05年1月末現在)	—	—	1,044 (1,044)	99.6% (99.6%)	1,044 (1,044)	99.6% (99.6%)
大・中型バス 非常口付近座席転倒防止 リコール (04年9月22日・1229)	27,569 (05年1月末現在)	—	—	26,388 (26,376)	95.7% (95.7%)	26,388 (26,376)	95.7% (95.7%)

47案件以外

市場措置アイテム (届出日・届出番号)	対象台数 实在登録台数	実施状況				合計	
		暫定措置		恒久措置		実施台数	実施率(%)
		実施台数	実施率(%)	実施台数	実施率(%)		
大型車フロントハブ不具合 (04年3月24日・1056), (04年4月22日・1076), (04年8月19日・1204)	100,619 (05年1月末現在)	2,064 (2,166)	2.1% (2.2%)	93,190 (92,970)	92.6% (92.4%)	95,254 (95,136)	94.7% (94.6%)